シドニー留学便り vol.4

こんにちは。5月も半ばを過ぎて、日本はもう初夏の陽気でしょうか。

シドニーは、前回のお便りの後にぐっと冷え込み、とうとう冬か、、、と思いきや、最近は、日中になると25℃くらいまで気温が上がる日もあり、本格的な冬まではまだまだという感じです。

さて、1st Semesterも半分以上終わり、冬休みまであと1か月ちょっとというところです。来月には EssayのAssignmentの締切りや、EpidemiologyとBiostatisticsの試験もあるので、本格的に忙しく なる前にお便りさせていただきました。前回のお便りではMPH programの様子を中心にお伝えしましたが、今回はちょっと大学を離れて、日常生活のことについてご紹介したいと思います。

■ 移民国家ならではの多様な食文化

オーストラリアというと、まず思い浮かべるのは"オージービーフ"でしょうか。"ミートパイ"や"ソーセージロール"、"フィッシュ&チップス"なども有名で、あちらこちらにお店を見つけますが、ここシドニーで意外と多いのは、中国、タイ、マレーシア、ベトナム、インド料理のお店です。日本ではなかなか本格的なこれらの料理(特に中国以外の国々の料理)を楽しむのは難しいですが、シドニーにはこれらの国々からの移民が多く住んでいることから、本場の味に非常に近い料理が楽しめます。

私がこちらに来てから頻繁に利用するのは、タイ料理とベトナム料理のお店です。基本的に自炊生活を心がけているものの、忙しいときなどはこれらのお店のTakeaway food (お持ち帰り)を利用しています。というのも、コンビニやスーパーのお惣菜が日本のように充実しておらず、あまりおいしくないという現実があり、食堂のTakeawayに頼るのが、味、価格ともにBest choiceなのです。

昼食は大学周辺で済ませることが多いのですが、学内のCanteenの食事がなんせ高い!(サンドイッチだけでAUS\$8-12します…確かに具は多めでおいしいのですが…) 大学の学食のように500円以内でたっぷり食べられるものとは大違いです。というわけで、よく利用するのは大学のそばにあるVietnamese roll屋さん("バインミー"と呼ばれる野菜たっぷりのフランスパンのサンドイッチ)や、安価なタイ料理屋さんのランチメニューです。

このような感じで、日本ではなかなか楽しめない料理を、せっかくなのでこの1年で楽しんでみたいと思います。



←家の近所にあるVietnamese roll屋 さんです。毎日大行列で、地元でも 人気のお店です。

タイ料理の"Pad Thai"タイ風焼きそば→ です。よくTakeawayするメニューの一つ。



←同じくタイ料理屋さんで食べた、 Satay lunchです。Satay(サテー)とは マレーシアやインドネシア周辺でよく 食べられているいわゆる焼き鳥のようなものです。ピーナッツソースをか けて食べます。



Laksa (ラクサ)と呼ばれる辛目のヌードルです。これも東南アジア周辺でよくみられるメニューのようです。 →



←日本人が海外生活するうえで欠かせない (?)のは、おいしいお米! 日本産のお米は日本食スーパーで売っている ものの非常に高価なので、アジア系スーパーで 売っている"NISHIKI"というカリフォルニア米を食 べています。渡豪した当初は色々試しましたが、 現地スーパーで売っている見た目が日本米に 似ているお米は非常に美味しくなく…最終的に このNISHIKI米にたどり着きました。

服装にはあまりこだわらない??

シドニー市街を歩いていて最近思うことは、季節にかかわらず色々な格好をした人がいるということです。特に最近は肌寒くなってきて、冬物の洋服を着ている人たちが増えてきましたが、コートを着込んでいる人の隣でノースリーブ+サンダルの人が歩いていたり、素敵なコートを着ているのに足元はビーチサンダル…。まれに裸足で市内の歩道を歩いている人(特に10代の若い世代の子たち)を目撃します。オーストラリアは日本と比べてあまりお洒落ではないという話はよく耳にしますが、なるほど、ちょっと納得…日本ではなかなか見られないコーディネートがたくさん見られます。そんなシドニーにも、今月初めにユニクロが期間限定でオープンしました。南半球でメルボルンに続いて2店舗目だそうです。開店当初は長蛇の列ができていました。こちらに来た当初は、もし洋服が必要になったらどこで買おうかかなり心配していたのですが、見慣れたお店があるとちょっと安心です。

それでは、そろそろessayの準備やtutorialの予習に取り組みたいと思います。

次回のお便りは、きっと1st Semesterが終わったころになりそうです。あと1か月ちょっと、頑張って乗り切りたいと思います。